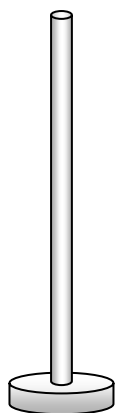


(株)レオテック社製FUDOHレオメーター用治具（一部）

圧縮治具



Φ3, 5, 8, 10, 15,
20, 30mm

球型押し治具



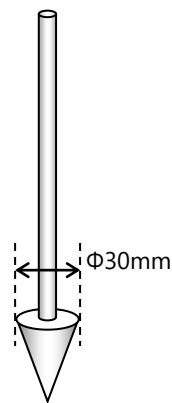
Φ3, 5, 7, 10,
15, 20, 30mm

進入度治具



Φ3, 5mm
先端角60°

円錐押し治具



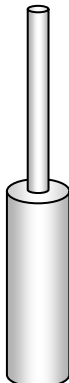
先端角度40°, 60°

円柱押し治具(1)



Φ3, 5mm

円柱押し治具(2)



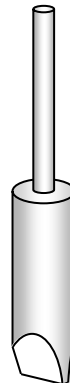
Φ10, 15, 20mm

曲面押し治具

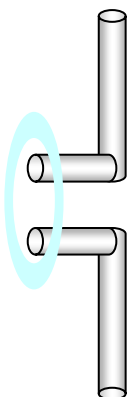


R 2.5mm

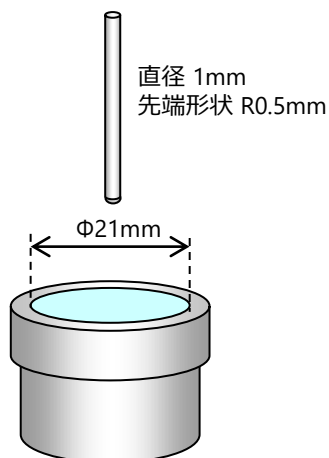
歯型押し治具



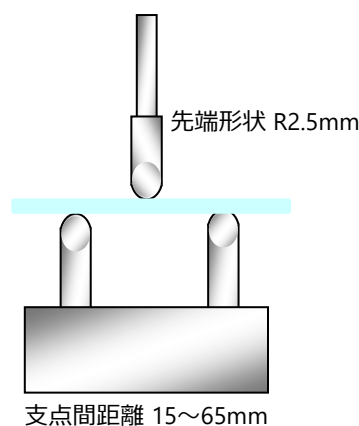
リング状試料引張



レトルトパウチ突き刺し



折れ試験（3点曲げ試験）



※規格に厳密に準拠しないのであれば、試料1は試料2よりも小さいものを準備した方が取り回しがよい。
同様に、試料2の長手方向も200mm以上が望ましい。

(試験機ロードセルへ接続)

引張り速度
100mm/min

スプリング

滑車

補強板
(試料1に固定して引っ張るための治具)

試料1 (移動用試料)
(規格サイズ：約80×200mm※)

滑り片 (重り)
(200g、63×63mm)

試料2 (固定用試料)
(規格サイズ：約80×200mm※)

180mm

試験可能距離：290mm

Figure 1 is a graph showing the relationship between load (荷重) and movement distance (移動距離). The load increases linearly from the origin to a peak, then drops sharply to a constant value. The constant load region is labeled '移動距離' and '60mm'. The initial load is labeled 'れ初均'.

- F_S：静摩擦力（試験機のロードセルで検出される荷重）
- F_D：動摩擦力（試験機のロードセルで検出される荷重）
- F_P：法線応力（200g滑り片で1.96N）

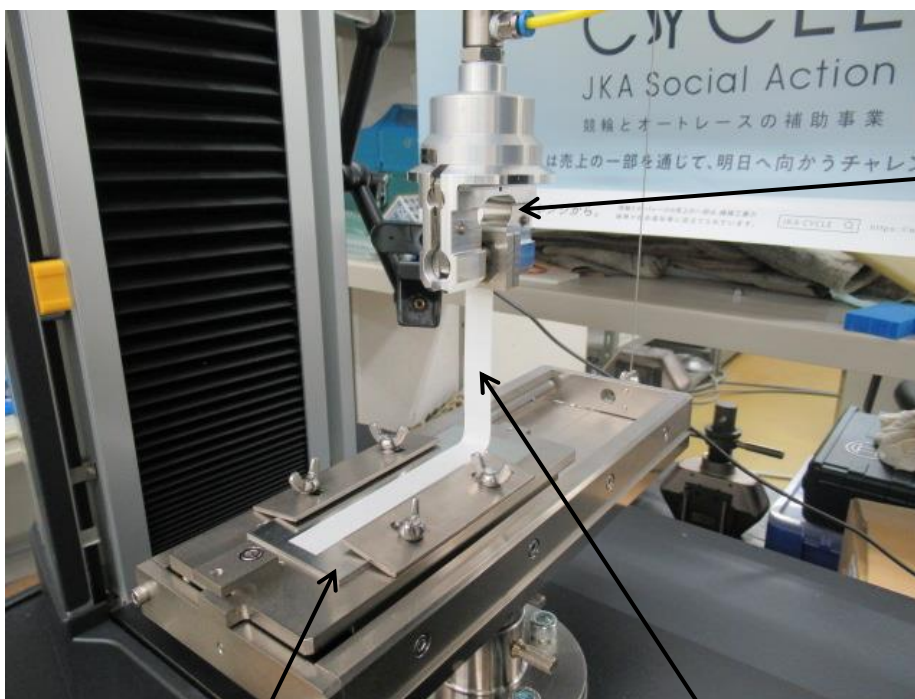
Figure 1 consists of four graphs arranged in a 2x2 grid, illustrating different load measurement scenarios. The top-left graph shows a sawtooth load profile (load vs. distance) for a spring system. The top-right graph shows a step load profile (load vs. distance) for a system without friction. The bottom-left graph shows a noisy load profile (load vs. distance) for a system with friction. The bottom-right graph shows a step load profile (load vs. distance) for a system without friction, with the text 'スプリングを外して動摩擦係数を測定する' (Remove the spring and measure the coefficient of friction) below it. Blue arrows indicate the relationship between the graphs: from the top-left to the top-right, from the bottom-left to the bottom-right, and from the top-left to the bottom-left.

スプリングを接続して測定を実施した際、上記のような測定結果がしばしば確認されることから、当センターでは「静摩擦係数：スプリング接続あり／動摩擦係数：スプリング接続なし」で別測定として実施しています。

90°剥離試験 (JIS Z 0237 粘着テープ・粘着シート試験方法)

治具概略図

※圧着装置は重量1kgの手動式を保有しています。従って、センターで貼り付けを行う場合、JISに準拠するならば試験片幅は17mm未満となります。JISに準拠した上で幅17mm以上の試験片を試験する場合は、別途重量2kgの圧着装置をご準備ください。



上部チャック

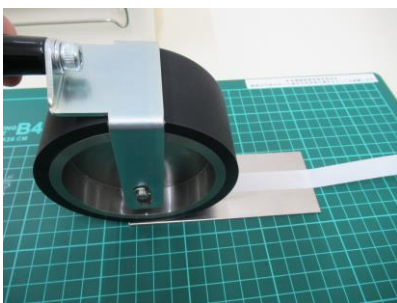
試験板

(幅：30～50mm、長さ：100～130mm、厚み：～5mm)

試験片

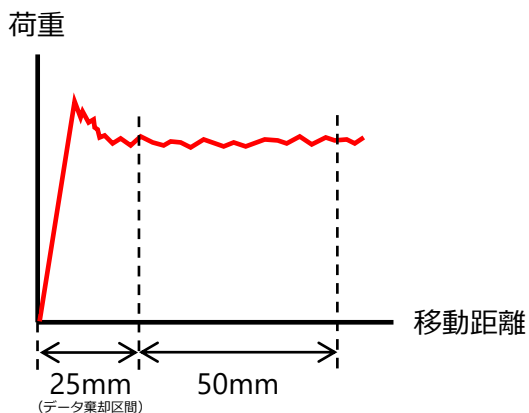
(幅：3mm超～24mm※、長さ：300mm程度)
試験片の接着端部から上部チャックまで
150～200mm程度の長さが必要

圧着装置



- ・ 圧着装置を用い、試験板に試験片をローラーで圧着します。
- ・ ローラーは 10 ± 0.5 mm/sの速度で試験片上を2往復させます。
- ・ 試験板と試験片の間に気泡が入った場合は、試料を破棄します。

粘着力計算



- ・ 5mm/sの速度で試験を行います。
- ・ 測定開始から25mmまでのデータは無視します。
- ・ 開始後、25～75mmの移動距離における荷重の平均値を粘着力として採用します。
- ・ 結果は、ニュートン毎10mm (N/10mm) で記載します。